

2023年6月13日(火)  
日刊工業新聞掲載

## プラ再生水分・汚れ分離

### 日本シーム、洗浄脱水機

【さいたま】日本シーム（埼玉県川口市、福田理也社長）は、プラスチック用洗浄脱水機を開発、発売した。

プラスチック用洗浄脱水機で付着した水分と汚れを分離する。高速回転する内部のローター形

状を工夫し、硬質プラスチックだけでなくフィルムなどの軟質プラスチックにも適用できる。装置が停止するトラップも防げる。大きさも同社従来機より小型化した。価格は消費税抜きで800万円。年間15台の販売を目指す。

新製品の「シーガルFD-400」写真は、硬質系や軟質系のプラスチックを投入して洗浄と脱水、分離が行って排出する。装置をカルウイング状に開閉できるため、メンテナンスをしやすくした。



食品残渣（ごんさ）が付着したプラスチックのほか、農業用プラスチックやラミネート付きフィルムの洗浄や脱水にも使うことができる。選別機やフック回収機などと組み合わせたシステムとして提案する。